

令和8年3月10日

令和7年度 ピクシープレイス 地域連携推進会議議事録

1：日時

令和8年3月5日（木） 13：15～14：45

2：場所

グループホーム ピクシープレイス （千葉市中央区白旗 2-18-7-2）

3：出席者

- ①利用者代表 嶋津 隆博
- ②家族 佐鳥 英雄
- ③地域の関係者 杉浦 睦子
- ④福祉の知見者 佐々木 隆之
- ⑤経営の知見者 大塚 勝之

- ⑥事業所から 川崎 鉄男（理事長）
川崎 真弓（常務理事）
中山 美香（管理者）
川崎 菜々（主任生活支援員）
山崎 龍也（サービス管理責任者）

4：議題

- ①事業所見学
 - ・各利用者の居室（空き居室をご案内）
 - ・共有スペース（食堂等）

- ②利用者・事業所に関する説明
 - ・法人事業所の紹介
 - ・利用者状況（年齢・障害等に関する内容）
 - ・利用者の一日の生活状況
 - ・事業所の職員配置体制、勤務、夜間体制
 - ・事業所の設備について説明

③利用者の権利擁護に関する説明

- ・過去に起きた事故等の報告
- ・苦情要望等
- ・利用者満足度調査に関する報告

④地域との連携に関して

- ・地域行事への参加
- ・その他

5：議事

①事業所見学

- ・見学を通して利用者が利用されている部屋の設備を説明
→IH コンロが設置されているが現在、入居されている方で自室での調理をされる方はいないことを説明している。
グループホームでの食事を希望されない利用者がいた場合は、ご自身で食事をご用意いただくこととなり、その際はご自身で調理をされるが現状では対象となる利用者がいない。

＜見学時の質問＞

○アパートタイプのグループホームとなっているが入居に際しては特に利用制限等は設けているのか？

→利用制限は設けてはいない。しかし、日常生活動作はご自身で行える方が入居の対象となってしまう。(アパートタイプのため)

開設当初、障害のある方が自立生活に向けて地域で生活するために「グループホーム」が設置された背景から支援の必要性が高い方の入居は難しい状況がある。

ご本人とご家族の意向確認も重要となり受け入れに際しては事前の説明、体験利用等を通して広く受入れしたいが現状、希望者が少なくなっている。

外階段を必ず通る関係で階段の昇降が難しい方は利用が難しい。

②利用者・事業所に関する説明

- ・法人事業所の紹介
→「障害者支援施設永幸苑：定員70名 主に身体障害者の受入」
「障害者支援施設ピクシーフォレスト：定員50名：主に知的障害者の受入」
「グループホームきらら：定員5名」
「その他、相談新事業を実施」

- ・利用者状況として年齢、障害状況を一覧にて説明
→利用者の一日の過ごし方を説明
日中は「障害者支援施設永幸苑 生活介護」を利用もしくは永幸苑での就労を行っている。
- ・事業所の職員配置体制、勤務、夜間体制
→生活支援員：1名 世話人：5名 をシフトで配置している。
夜間帯、職員の配置はない。
- ・事業所の設備について説明
→グループホームは在宅と同じだが消防設備等の設置が義務付けられている。
スプリンクラー、非常通報装置などは設置済みとなっている。

<利用者・事業所に関して質問>

○一ヶ月の利用料は？

- 家賃：55,000円
- 光熱水費：10,000円
- 日用品費：3,000円
- 食費（1食）：朝・・・300円 夕・・・500円
- 合計：90,000円くらいの負担となる

※特定障害者給付費10,000円と市町村からの家賃助成を受けることができる。

○緊急時の対応はどうなっているか？

- 火事などの災害時は非常通報装置が連動をしてピクシープレイス近隣の職員へ電話がつながるようになっている。
5分で現地到着は難しいができる限り早期に職員が到着できる体制を整えている。

○緊急時の対応等は理解できたが、夜間帯に職員が配置されていないので今後、検討が必要と思われるが？

- 現在の利用者状況から緊急時の対応は整備しているがご指摘をいただいている通り、今後の課題として夜間の職員配置は検討を進めていきます。

※過去に夜間帯で消防通報がなり、そのままセコムや警察等にも通報が行き、なかなか職員が来ない為に困ってしまった。

職員がすぐに駆け付けられない状況下だとどうやって音を消したらよいのか？という点や利用者の方もとても不安になられてしまうと思うので夜間帯の対応等は検討をお願いします。

→セコムも警察、消防と連動をしていますので何かあれば駆けつけてくれることで安心できる面もありますがご迷惑をかけないように対応を検討いたします。

③利用者の権利擁護に関する説明

・過去に起きた事故等の報告

→2、3階へ上がるには外階段を使用しなければならない。

利用者が単独で階段を歩いていて転倒し、骨折をしたことがあった。

現在、怪我は治ったが階段を使用する関係で転倒には十分注意するよう支援をしている。

・苦情要望等

→過去の苦情として、利用者送迎時にピクシープレイス前公道に公用車を停めたがその関係で道路がふさがってしまい近隣より苦情をいただいた。

現在は店舗前の駐車スペースで乗り降りをしている。

近隣にご迷惑をおかけしないよう徹底をしている。

・利用者満足度調査に関する報告

→利用者に対して日々の職員の対応や支援内容、ピクシープレイスでの生活に対する調査を年2回実施している。

直近でのアンケートで100%であった。

良い回答をいただけているため、継続できるよう今後も取り組んでいく。

<利用者の権利擁護に関する質問>

○利用者の方が一斉に外出等に行くイベントはあるのか？

→過去には皆で外出をしていたが現状では新年会で外食をする程度となっている。

利用者個々で趣味や嗜好があり本日、会議に出席をされている嶋津さんは古銭のイベントなどに行かれている。

個々の希望や要望、意思を尊重して対応をしている。

日常的には近隣の散歩等を行っている。

④地域との連携に関して

・地域行事への参加

→今後も積極的に地域行事への参加をしていきます。

利用者個々の嗜好もあるが地域との共生に向けて取り組んでいきます。

・その他

→四街道市の入所施設の方では花火大会等も開催をしています。

そういった際は夜まで四街道の施設で過ごすこともあります。

様々な行事への参加もしております。

<構成員の方から>

○杉浦構成員より

日ごろから買い物などに行かれている姿やバスを使ってお出かけをされている利用者を見かけます。バスを利用される方は声をかけてくれて「これからどこどこに行きます」と言ってお話をしてくれる。

とてもしっかりされていて楽しく生活されていることが分かりました。

○大塚構成員より

他法人のグループホーム建築に携わる機会をあるので様々な視点で情報共有できればと考えます。

在宅生活において積極的に外出や地域の方と一緒に生活をしていくことなど何かできることは相談をいただければと思います。

○嶋津構成員より

ピクシープレイスに入居して5年が経過する。YouTubeなどの投稿や古銭など趣味を通して今後も永幸苑での就労を頑張っていきたい。

※地域連携推進会議は年1回の開催ですが今後ともご意見をいただきながらより地域の中で認知される事業所を目指して取り組んでまいります。

以 上